

時事新報定例
時事新報ハ一年三百六十五日一日休刊セズ其代價遞
送料廣告料ハ左ノ如ク
一 紙二張以下 一月前金五十銭 三月前金一圓五十銭 六月前金三圓
一 四月前金六圓

時事新報

鐵道工事緩慢理由は如何ん昨日の續き
鐵道の目的は全長營業、部分營業の相違あり全長營業
とは鐵道線の起點より終點に至るまで首尾悉く連絡
せざれば其營業の目的を達せざるものにして部分營業
は之に反し線路の通じたる其地方へを限り運輸交通
を主眼とするものなり隨て其線路と定むるにも全長營
業の鐵道亦れば起終兩點の其間成るべく直線の方角を
取り距離は懸隔を少くするの手段等大切ある可しと
雖も部分營業の工事に於ては全線の連絡は先づ兎も角
も物産豊にして旅客往來の頻繁なる地方ならば故さら
に其線路を迂迴せしめて専ら運送の利を利するにより
距離に多少の遠隔あるものとせざるが如き今日我
國鐵道事業の目的を如何に至りても各地其情實
を以て或は部分營業を主眼とする者もあらんと雖
も目今起工中なる中仙道及び東海道の兩鐵道に至りて
は全線悉く連絡せざれば寧ろ其費用と欲を免る可ら
ず一線の直江津より上田に通ず一線は東京より横川に
達するの線路かれとも確水の工事落成せざる其間中仙
仙道の鐵道（此線は信越間に通ずる者ありて寧ろ中仙
道鐵道の支線なれども其本線は今日既に東海鐵道と
變ざるを以て對照の便を計り假りに爰に之を中仙道
鐵道と稱す）は未だ其用を全ふしむるに云ふ可らず東
海道の鐵道と雖も之に均しく一方の橫濱國府津の線路
一方は名古屋以東の線路互に峻遠に到りて一致連絡せ
ざる限り其交通は便利功徳未だ全からざるものにして
之を期する山を築く九段、功一實を缺く憾なきを得ざ
るからんれば我輩の甚だ取らざる所なり是に依て之
を駭れば確水は險ならんと雖も峻遠の川は激ならず
んと雖も其造化天工に遊易して人為の力初めより之に
驕んとするの覺悟なきは甚だ故かきの次第にして若し
日本の天險は萬國無比、山に攀ぎ川を渉るの困難は到
底鐵道工事と許さざる者ありとすれば我輩に於ても茫
然自失の外なる可らずと雖も聞か所又見る所を以てする
に西洋諸國の鐵道工事にして其困難獨り日本に屬らざ
るのみならず人為起業の大難ある却て我輩として嘆
せしむる者少からず試み見る可し米國紐約育樂港
間三千四百哩に鐵道工事は起業の困難如何ありしか、
山脈起伏高峻然る其間を迂迴曲折してワッシャー山
の頂上に到れば鐵道線路面を抜くの高さ一萬三千餘
呎にして日本第一の高山當岳より高さこと更に一百餘
呎なり其勾配曲線の急にして險なる可きは餘を説たさ
る所なれども兎に角に斯る絶頂を事なげに横過して
鐵道兩岸の連絡を續けたるは誠文明の妙力にして只
其營業の種類に屬す可き者にて全線悉く通せざれば
其用を爲さざるは規模の大小より殊なれども恰も我中

仙道若くは東海道鐵道と其趣を同ふするに非そや米人
の勢力至小にして若し初めよりロッキーマン山上一萬三
千餘呎に難工事を恐れたらんにば縱令へ桑港紐育兩岸
の平地鐵道は全く落成しむるとするも中途に一點の隔
壁を存する限り此鐵道も何の利益を爲す可きや疑は
ざるを得ず中仙道東海道兩鐵道の工事と雖も全線開通
の後には非ざれば其用を全ふざる能ざるは像てより明
白の事實にして今に及んで俄に驚くに足らざるは世人
亦我輩と同感ある可し
本來我輩は鐵道工事の速成に熱心ある論者にして絶え
ず之を世人に促すの精神も早く全國の運輸交通の便利
を開て富の増殖と計らんと欲するの旨に外ならざれば
人事物物の何たるに論多く凡る鐵道事業の進歩に妨害
と與ふるの恐ある者ならば我輩は之に抗して争ふ所な
かる可らず例へば近時鐵道速成と非ざりとする論者の
一説に曰く近來は如何なる故か銀貨追々外出して其形
狀暫時に止まざる者如し此際若くは鐵道工事と急に
して軌道汽機車等を買入るが爲めに外國に出るの金
額一時に膨脹すると云ふからば左の如くは濫出の傾き
ある今日に借々其氣焰と助けて幣制紊亂を來すの危険
なれば非ず現今起つてある全國各所所鐵道會社が
同時に悉く其工事を起して材料と外國に注文する
の隙には何千萬圓と云ふ大金の忽ち市場に吸取る
るは勢ひ免れ難き結果にして幣制に差を生じ五
七年前の觀望を今日に再映せしむる可き可きや
容易ならざる時節なれば成丈外國に銀貨と出さざるの
工風を爲すは要用の次第にして其方便の一には鐵道工
事を延引するに若く可らず云々と蓋し銀貨の外出は昨今
經濟社會の一疑問とせる所にして其原因如何も論者の
所論交々一ならず又後來の成行に關しても實は懸念す
可きの至りなれば早く其原因に溯りて濫出を防ぐの
策を講ずるは素よ我輩に於て異存なき所なれども去
連豫防手段の一とて鐵道の工事までも延引せしむ可
しと云ふが如きは首尾本末の關係を誤ると實に甚し
く論議にして我輩に於て大に不服なき能はず今日銀
貨の頻りに外出して已まざるは何故なるやと問問題に至
りて之の聊の鄙見もありと雖も其事たる全く鐵道事業に
は無縁なる可き者にして全國の鐵道と落成せしむるま
では早晩何時も幾千萬の金を外國に出すは日本國に
免れ難き運命なれば今日少しく其工事を差控へたりと
て銀貨外出の源を塞きたるにあらざる其本源と問はずし
て一時の小運動と恐れ、九段の工事と畏れざる資本を
一策の足らざるが爲めに空ふして利益の全きものを失
ふは之を評して經濟の得策と云ふ可らず我輩の世論を
恐れず唯工事の速成を冀望して止まざるものなり(完)

Table with columns for names, birth dates, and other details. Includes a section for '特別檢閱使巡廻日割' and '全國民籍戶口總數'.

又與勤以結締三二五
八、八八八、八八八、八八八
九〇七、八八八、八八八、八八八
九〇七、八八八、八八八、八八八

○毛糸○白毛布○米國麥酒○
紅金巾○ワルチンエ○オル

名刺●以廉價●十二月
田區美十代三丁目 頼才新誌社印刷所

眞の正札賣廣告
新形帽子小間物